

なよろ



名寄市観光キャラクター
「なよろ」



目次

○ 定例会で決まったこと	2
○ 議決結果	3
○ 一般質問に9人・議会運営委員会活動報告	4～8
○ 議員協議会・意見書	9
○ 各常任委員会活動報告・議会日誌	10～12
○ 政務活動費概要報告・政務活動報告	13
○ きぼう・編集後記	14

令和3年
第2回定例会
第61号
令和3年8月1日
発行

令和3年 第2回定例会 6月2日～6月18日

▽市独自の第5弾給付費などを含む補正予算案を可決。
 ▽市立大学での職域接種に従事した職員に対して、特殊勤務手当を支給するための条例改正案を原案可決。

▽令和3年第2回定例会は、6月2日から6月18日までの17日間の会期で開会。16件の議案を審議。
 ▽開会初日に、加藤市長から市政執行方針。
 ▽議案審議では、「名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定について」を市民福祉常任委員会へ付託。
 ▽条例の改正案6件、補正予算案3件、財産の取得1件、専決処分した事件4件を原案のとおり可決・承認。
 ▽名寄市農業委員会委員の任命について、原案のとおり同意。
 ▽16日、17日、18日の一般質問では9人の議員が市政の課題について質問。

条例の改正等

☆名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について

市立大学の教員で医師免許または看護師免許を有する職員が、新型コロナワクチン接種業務に従事した場合に特殊勤務手当を支給するため、条例の一部を改正しました。

主な補正予算

☆児童母子等給付費

低所得の子育て世帯に対する子育て世帯生活支援特別給付金（その他世帯分）支給事業費1938万9千円を追加しました。

☆予防費

新型コロナウイルス接種に際し、ワクチン接種を実施する

る医療機関への委託料7741万8千円を追加しました。
 ☆塵芥処理費
 小型家電等資源化施設建設工事において、現在実施している実施設計による詳細設計の結果、基礎杭工事の追加や床面積の変更などが必要となったことから工事費6006万9千円を追加しました。

☆地元企業サポート給付費給付事業費

新型コロナウイルス感染症にかかる緊急事態宣言の措置区域指定により影響を受けている幅広い市内事業者に対して事業の継続を支援するとともに、感染予防対策を推進し、地域経済の持続を図るための給付金1億631万5千円を追加しました。

☆感染防止対策IT化支援事業費

市内中小企業者などが感染防止対策として実施とする決済のキャッシュレス化などの非接触型サービス導入にかかる経費の一部を支援しようとするもので、1000万円を追加しました。

人事案件

◆人権擁護委員

佐々木 順 道氏（新任）
 名寄市風連町字瑞生
 滝 沢 美也子氏（新任）
 名寄市西14条南8丁目

◆名寄市農業委員会委員※

臨時会を開きました

令和3年第2回臨時会が5月13日に開催され、名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正など、9件の議案について審議し、原案のとおり可決・承認。1名の議員が新型コロナウイルススワクチン接種について緊急質問を行いました。

人事案件

◆名寄市教育委員会教育長

小 野 浩 一氏（再任）
 名寄市西10条南10丁目

◆名寄市固定資産評価審査委員会委員

梅 野 圭 介氏（新任）
 名寄市西2条南8丁目
 木 賀 義 友氏（新任）
 名寄市西3条南3丁目
 岡 田 裕 章氏（新任）
 名寄市風連町字東風連

※名寄市農業委員会委員につきましては、農業者の方に配布される「農業委員会だより」または名寄市ホームページ（ホーム⇒各課のご案内⇒農業委員会事務局⇒農業委員会）をご確認ください。

令和3年 第2回臨時会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第2号	専決処分した事件の承認について（名寄市税条例等の一部改正について）	承認
議案第3号	専決処分した事件の承認について（名寄市都市計画税条例の一部改正について）	承認
議案第4号	専決処分した事件の承認について（新型インフルエンザ等対策特別措置法等の一部を改正する法律等の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について）	承認
議案第5号	工事請負契約の締結について	原案可決
議案第6号	財産の取得について	原案可決
議案第7号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第8号	名寄市教育委員会教育長の任命について	同意
議案第9号	名寄市固定資産評価審査委員会委員の選任について	同意

令和3年 第2回定例会議決結果

議案番号	件名	結果
議案第1号	名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定について	閉会中審査決定
議案第2号	名寄市固定資産評価審査委員会条例の一部改正について	原案可決
議案第3号	名寄市手数料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第4号	名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正について	原案可決
議案第5号	名寄市特別養護老人ホーム条例の一部改正について	原案可決
議案第6号	名寄市立総合病院食堂等使用料徴収条例の一部改正について	原案可決
議案第7号	財産の取得について	原案可決
議案第8号	専決処分した事件の承認について（令和2年度名寄市一般会計補正予算（第15号））	承認
議案第9号	専決処分した事件の承認について（令和2年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第6号））	承認
議案第10号	専決処分した事件の承認について（令和2年度名寄市立大学特別会計補正予算（第5号））	承認
議案第11号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第12号	令和3年度名寄市介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決
議案第13号	名寄市農業委員会委員の任命について	同意
議案第14号	名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について	原案可決
議案第15号	専決処分した事件の承認について（令和2年度名寄市病院事業会計補正予算（第3号））	承認
議案第16号	令和3年度名寄市一般会計補正予算（第3号）	原案可決

《賛否の分かれた議案》

※○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席)

議案番号	件名	議員名	市民ネット					市政クラブ					議公共							
			富岡達彦	倉澤宏	山崎真由美	佐久間誠	佐藤靖	高野美枝子	三浦勝秀	今村芳彦	五十嵐千絵	遠藤隆男	清水一夫	塩田昌彦	東川孝義	山田典幸	黒井徹	東千春	高橋伸典	川村幸栄
議案第4号	名寄市高齢者自立支援事業条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
議案第5号	名寄市特別養護老人ホーム条例の一部改正について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×

※公(公明) 共(日本共産党) 議(議長) ※議長は表決に加わりません。



ウィズコロナを見据えた施策を

市政クラブ 東川孝義 議員

人口減少と将来展望は

問 まち・ひと・しごと創生人口ビジョンの展望と実人口の差異が大きくなっているが、人口減少に歯止めをかける対策は。雇用の創出と人材確保に向けての具体的な施策は。

答 想定よりも相対的な人口の減少スピードが速くなっており、出生率が伸びていなく、安心して出産、子育てできる環境をさらに充実させたい。雇用の創出と人材確保については、グリーン、デジタル、子育て支援、分散地域化という4つの社会的環境視点から地域の優位性を生かした取り組みと、また地域連携、広域連携による地域づくりで、人口を減らさない対策を進める。

ワクチン接種と経済支援策は

問 65歳以上の方のワクチン接種完了予定は。64歳以下の接種予約スケジュールは。コロナ禍における市内経済支援策とウィズコロナの施策は。

答 高齢者の2回目ワクチン接種の完了は7月末頃。64歳以下への接種券は6月中旬に発送し、基礎疾患を有する方を優先し、64歳以下については、年代を3グループに分け年齢の高い順に予約を開始する。

市内経済への支援策については、道内外の緊急事態宣言による影響を受けた幅広い事業者に対して、道の支援金との併給も可能にした給付金交付の提案を予定している。

他の質問 行政評価結果に基づく対応について



医師、看護スタッフ、市民の協力により順調なワクチン接種が進む



誰一人取り残さない

市民ネット 山崎真由美 議員

みんなに届く情報発信を

問 防災とコミュニケーション機能の両面で、迅速かつ正確な情報提供が求められる。パソコンやスマホ等を用いない人への情報提供の方法は。

答 昨年7月から「名寄市防災情報配信システム」を導入し、自宅の電話・FAX番号を事前登録することで情報受信が可能となっている。しかし、行政端末の導入にあたっては、同報系無線導入時の初期費用だけでも約6億9000万円と高額であり、別の手法を模索している。今後、民間テレビの地デジ広報サービスを利用し、市からの情報発信を視聴者にリアルタイムで提供できるようにしていく。

市内高等学校の再編統合は

問 道教委から示された「公立高校配置計画案」の詳細は。
答 新設校は、現名寄高校の校舎を使用し、普通科4学級、情報技術科1学級とする。生徒の多様な興味・関心や進路希望などに応じた主体的な学習が可能となるよう単位制を導入する。と計画案が示された。

問 中学生に選ばれる魅力ある高校創造に向けた取り組みは。

答 コミュニティスクールの導入を提案し、市内小中学校にある7つの学校運営協議会との連携で、地域一体となつて特色ある学校づくりの実現を目指す。

他の質問 通学における児童生徒の安全対策について



近隣自治体で整備されている防災情報端末機

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



学校教育での課題を問う

市政クラブ
今村 芳彦 議員

感染症対策は

問 小中学校の感染症対策の現状と対策は。

答 「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル」を踏まえ実践している。今後、児童生徒が感染症を正しく理解し、自ら適切な感染対策をとれるよう指導の拡充を図る。

問 陽性と判断された児童生徒へのケアは。

答 感染者や濃厚接触者となった児童生徒や家族などに対する偏見・差別に繋がる言動やSNSでの発信は決して許されない。教育活動全体で指導し、きめ細かな対応に努める。

子ども主体の部活動へ

問 部活動の現状と課題は。

答 学校教育の一環として、市内全生徒の86%が加入している。部活動指導にあたる教員の負担が大きいこともあり、国からも働き方改革を踏まえ



児童生徒の自由かつ伸びやかな学校生活を願う

た部活動改革に取り組むよう要請があった。

問 今後のあり方と課題は。

答 学校単独での部活動が困難な事例が発生し、複数校合同運動部活動を実施する学校が増えている。本市でも指導者の確保、生徒の安全確保、生徒と保護者の理解など、多くの課題があり、関係機関と連携して意見交換などを行う準備委員会の設置について校長会と協議を進めている。

特別支援教育の推進について

問 インクルーシブ教育システムの構築について伺う。

答 学校の基礎的環境整備の充実を図るため、特別支援教育学習支援員・看護師・生活支援員の配置やエレベーターの設置など、一人一人の障がいの状態に応じた教育環境の整備に努めている。また、一人一人の教育的ニーズに応じた指導や支援の充実を図るため、特別支援教育コーディネーターを配置し、個別の教育支援計画や個別の指導計画の作成、校内の教職員への指導助言、関係機関などと連携した取り組みを推進している。

問 ICTの活用について伺う。

答 本市では令和3年度から一人一台のICT端末を活用した学習が始まり、現在、タブレットとしても使えるノートパソコンとタッチペン、ヘッドセットが導入されてい

住みつづけたいまちづくり

市政クラブ
遠藤 隆男 議員

る。また、特別支援学級では一人一台のICT端末が導入

される以前から、児童生徒の実態に応じてタブレットを活用している。今後も校内におけるICT環境を充実させ、特別支援学級や通常の学級に在籍する困り感を抱えた児童生徒の特性に応じて、各教科において適切に活用できるように、教員のICT活用能力などの向上を図っていく。

他の質問 支援体制の現状と課題など、学校における安全教育について



子どもたちが楽しく学校生活を送り、保護者に安心してもらえる支援体制を

子育て施策の効果と評価は



市民ネット 倉澤 宏 議員

問 子どもの遊び場整備事業について

答 市内商業施設に整備される「子供の遊び場」について「公の施設」として条例の制定が必要と考えるが。

問 同事業は「地域子育て支援拠点事業」として実施するもので、「公の施設」としての条例制定の考えはない。

答 同事業は「地域子育て支援拠点事業」として実施するもので、「公の施設」としての条例制定の考えはない。

問 設計が行われている南保育所の供用開始に合わせ、開所する保育所などの検討状況は。

答 西保育所、東保育所のいずれかを閉所することになるが今年度中に決定し、次の新保育所整備について検討する。

問 これまで子育て支援施策に対し財政規模的にも注力しているが、少子化抑制効果とその評価は。

答 きめ細かなアンケートを行い、要望を具現化してきた満足度の評価も高まっているが、少子化抑制には結びついていない。出生率の低下については多面的に分析する。



屋内に「子どもの遊び場」が整備され、11月に供用開始される市内の商業施設

問 感染症の拡大や有事の際などにおける初動対応や危機管理意識向上のためのマニュアル整備が必要と考えるが。

答 現状においてはマニュアルなどの整備の考えはないが、今後議論を深めていきたい。

問 感染症の拡大や有事の際などにおける初動対応や危機管理意識向上のためのマニュアル整備が必要と考えるが。

答 現状においてはマニュアルなどの整備の考えはないが、今後議論を深めていきたい。

他の質問 社会教育について

農業について



市政クラブ 清水 一夫 議員

問 第2次名寄市農業・農村振興計画の見直し

答 国は令和2年3月に食料・農業・農村基本計画を策定、北海道も令和3年3月に農業・農村振興推進計画を策定、第2次名寄市農業・農村計画は5年目、計画では5年後に中間的な総括を行い必要な見直しをすると謳っている。見直しの考えは。

問 国は令和2年3月に食料・農業・農村基本計画を策定、北海道も令和3年3月に農業・農村振興推進計画を策定、第2次名寄市農業・農村計画は5年目、計画では5年後に中間的な総括を行い必要な見直しをすると謳っている。見直しの考えは。

問 5年後の令和4年度に中間検証を行い、必要に応じて見直しを行う。方法については、農業団体、生産者、青年女性、経済団体や消費者など幅広く意見を伺う必要があると考えている。

有機農業について

問 国際的な環境問題や持続的な開発目標の動きの中、国も「みどりの食料システム戦略」として有機農業取組面積25%を掲げている。本市の環境保全型農業直接支払交付金事業の調査研究は。



初夏の田園（風連瑞生）

答 環境保全型農業直接支払交付金事業は、環境に配慮した取り組みの一つであり、本制度は既に確立された技術を組み合わせるものであり、生産者への周知も進んでいることから、JAの振興作物などとの整合性や経営リスクなどを考慮し、生産者の判断を基本に進められるべき段階にあるものと考えている。

他の質問 農地の集積・集約、観光振興計画の策定

一般質問

質問・答弁の原稿は質問者本人がまとめたものです



ワクチンで集団免疫を

公明 高橋伸典 議員

ワクチン接種対応について

問 65歳以上の予約状況を踏まえて、64歳以下の接種への対応と名寄市立大学や企業の職域接種は、12歳以上のワクチン接種が可能となり夏休み期間の接種を進め2学期から平常授業や行事を。

答 予約人数は70%を予想したが現在90%。64歳以下のワクチン予約は3週間で希望者全員の1回目の接種が終了し、年齢の高い順から3グループに分け予約時期を変え対応する。名寄市立大学は職域接種を進め授業・実習の体制を平常に整える。厚生労働省はファイザー社製のワクチンの12歳以上の接種を認めているが、本市は国の選考基準の基礎疾患を有する方、高齢者施設に従事者・先行接種などのスケジュールで進め、中学生の夏休み接種は、高齢者接種と重なるため変更はしない。

患者の待ち時間の対策は

問 市立総合病院の外来を予約しても待ち時間が長く、駐車場が満車で止められないと市民からの相談があり対策は。

答 診察前後に検査や病棟業務や救急診療のかかりと、診療科ごとに医師の診察時間の長短が影響している。対策として本年より「外来フリーWiFi」の運用と「後払い診療費システム」を導入する。駐車場対策は、限られた駐車場のため近隣の方には自家用車以外の来院をお願いしている。



集団免疫で安心な日常生活を



若者の困難

市政クラブ 五十嵐千絵 議員

ヤングケアラーについて

問 ヤングケアラーとは本来大人が担うと想定されている家事や介護などを日常的に行っている18歳未満の子どもとされているが、本市の実態把握状況は。

答 本市では、子ども家庭総合支援拠点事業において、要保護児童対策地域協議会の登録ケースを精査することで状況を確認し、支援が必要な家庭への相談や支援を実施してきている。しかしながらネグレクトや不登校などのケースにおける把握にとどまっていることから、判断が難しい潜在的なヤングケアラーの把握には至っていないのが実態。

見えにくい若者の貧困

問 直接支援が行き届かず困るのは若者たちと考える。家庭の状況によりしわ寄せが来ている子ども達へ向けた支援について見解を伺う。

答 国はこれまで様々な支援

を実施してきたが、制度上、家庭ごとへの支給となるため、その使い方は各家庭に委ねられている。物資などの直接的な支援も方法のひとつではあるが、子どもたちの置かれた環境を考え改善していく「相談」による支援が最良であると考える。本市では、子どもに関する各種の相談窓口を設置している。関係する機関や相談窓口へ繋がるよう、地域全体で見守ることにより、必要な支援が届くよう取り組みを進めていく。

他の質問 生理の貧困問題への対応について



介護する側を支える支援も必要



「教育都市宣言のまち」名寄

日本共産党 川村幸栄 議員

「名寄市内に高校が1校」に

4校あった高校が1校しかなくなってしまうのか。以前名寄に住んでいた方からこのような声が寄せられている。6月1日道教委から、高校の統廃合について示された。普通科4、情報技術科1の5

学級となり、酪農科学、機械・建築システム、生活文化の学科がなくなるという。地元中

学生の進路選択を狭めることになるのではないか。

新設校の両学科への単位制導入は、生徒の多様な興味・関心や進路希望等に応じた主体的な学習が可能となると考えられる。

あり方検討会議について、どのように進められ市民周知を行ってきたのか。

平成27年2月より、関係する多くの市民から意見をいただき地域産業など実態を踏まえた今後の高等学校のあり方について議論検討してきた。

JR名寄高校駅の利便性について、申し入れ等の進捗状況は。

新たな通学利用者を確保するため、登下校や部活動等の時間に合わせた運行が求められる。引き続き要望していく。

教育の機会を守る環境整備を

急な体調の変化で、授業に影響が出るのではないように、トイレ個室にトイレトーパーがあるように生理用品の学校内配置を。

配置を実施している他自治体の例を参考に協議したい。



名称、建物の今後が不明瞭のままの名農キャンパス

議会運営委員会 活動報告

令和3年第2回定例会の日程、議事運営などを協議するため、4月20日から6月16日までの間、委員会を6回開催しました。

5月28日の委員会では、会期を6月2日から6月18日までの17日間とすること、一般質問は16日から18日の3日間とし9名の議員が登壇することを確認しました。上程議案は13件、報告8件、諮問1件で議案第1号名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定については、市民福祉常任委員会に付託し、審査することとしました。

新型コロナウイルス感染症に関する議会としての対応については、本会議、委員会などにおける室内換気の徹底と一般傍聴について、ご遠慮いただくことを確認しました。

6月16日の委員会では、定例会最終日の追加議案、名寄市職員の特殊勤務手当に関する条例の一部改正について他2件と報告1件、諮問1件の審議を行うことを確認しました。

市民の声を市政に生かします!! 議会を傍聴しませんか!

定例会は3月・6月・9月・12月の年4回、また臨時会も必要に応じて開催されます。

- ◇議場での音声を鮮明に聴くため、携帯型受信機を用意しています。
- ◇傍聴する際には、新型コロナウイルス感染症対策として、受付時の検温やマスクの着用をはじめ、間隔を空けて着席していただくなどのご協力をお願いします。
- ◇本会議の開催日など、詳しくは議会事務局（☎01654-3-2111）へお問い合わせください。



議員協議会

株式会社名寄振興公社の
経営状況について

定例会初日に行われた議員協議会で報告を受けました。令和2年度（第49期）事業報告では、新型コロナウイルス感染症対策を講じながら施設管理運営に努めたことや飲食部門では、市内事業所へのランチ宅配や弁当、オードブル販売などで売り上げ減少を最小限にとどめるよう努めたこと。スキー部門では、足元マーケットの強化に努め小中学生のリフト料金を無料化し、大人・シニアのシーズン券も大幅に値上げし前年比123・1%の売り上げとなったことが報告されました。また、コロナ禍における子どもの遊び場として道北最大級のキッズパークの開設やナイター営業の毎日運行から週3日としたことなどにより利用者数前年比120・9%と増加したことが報告されました。さらに、令和元年度に発覚した一連の不適正事案対応についての報告がありました。指定管理料の無

効な債権譲渡については、公社が令和元年8月に民事訴訟を旭川地方裁判所に提訴。年内に判決言い渡しとなる見込みとの報告でした。

「名寄市過疎地域持続的発展市町村計画（素案）」について

定例会最終日に行われた議員協議会で説明がありました。過疎地域自立促進特別措置法（旧法）が令和3年3月末で期限を迎えたため過疎地域の持続的発展の実現を目的に、新たな法律を制定。人口減少率など要件にあった過疎地域の市町村は持続的発展方針に基づき、議会の議決を経て、計画を定めることができます。素案の説明がありました。



定例会最終日の6月18日に行われた議員協議会

第2回定例会で次の意見書を提出することに決定しました。

- ◎コロナ禍における地域経済の活性化と農畜産物価格の暴落対策を求める意見書
- ◎2021年度北海道最低賃金改正等に関する意見書
- ◎地方財政の充実・強化に関する意見書
- ◎義務教育費国庫負担制度堅持・負担率1/2への復元、「30人以下学級」など教育予算確保・拡充と就学保障の実現に向けた意見書
- ◎地域・医療職場の自主性を求める意見書
- ◎保健師等の大幅増員・保健所機能の抜本的強化を求める意見書
- ◎国民健康保険料（税）のさらなる負担軽減を求める意見書

総務文教常任委員会活動報告

老朽化施設現地調査

5月13日に第3回委員会を開催し、所管事項「名寄市学校施設長寿命化計画」について説明を受けた後、「名寄市公共施設個別施設計画」で示された老朽化施設の市立名寄図書館（築51年）・名寄市児童センター（築48年）・市立名寄中学校（築44年）・市立名寄東中学校（築41年）について現地調査を行いました。



老朽化した名寄中学校・名寄東中学校を現地調査

令和3年度所管事業の推進

5月21日に第4回委員会を開催し、名寄市立大学から学

生の在籍・入学・志願状況、就職・進学状況、国家試験合格状況、コロナ対策学習環境状況、コミュニケーションケア教育研究センターについて説明を受け、質疑を行いました。

教育委員会からは、G I G Aスクール構想、智恵文義務教育学校整備事業、名寄中学校・名寄東中学校耐力度調査、教育活動向上事業、生涯学習名寄市公民館・智恵文公民館・風連公民館、児童センター・青少年センター・教育相談センター、北国博物館、名寄図書館、天文台、学校給食センターについて、事業概要の説明を受け、質疑を行いました。



改築が待たれる市立名寄図書館（築51年）を現地調査

所管事務調査事項

第5回委員会を開催し、①市内コミュニケーションバス②下多寄御料線デマンド交通③空白地域対策について調査を進めることを確認しました。また、コロナ禍の状況を踏まえ、調査方法を検討することとしました。

総合政策部からは、名寄市総合計画（第2次）、地方創生推進交付金事業、企業版ふるさと納税、定住自立圏構想、過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法にかかる市町村計画の策定、地域公共交通の利用促進の取り組み、移住定住推進、広報広聴推進スポーツ施設整備事業、スポーツ振興事業、スポーツ合宿推進事業、スポーツ地域活性化・広域まちづくり事業、SPORT FOR TOMORROW事業、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

総務部からは、経済センサス、職員研修・職員採用試験、高度無線環境整備推進事業、名寄市防災訓練、補正予算の概要について説明を受け、質疑を行いました。

議会日誌 5~7月

5/7 各会派代表者会議
5/11 議会運営委員会
5/13 令和3年第2回臨時会
総務文教常任委員会
5/17 各会派代表者会議
5/18 全国自治体病院議員連盟総会
5/19 経済建設常任委員会
5/20 市民福祉常任委員会

5/21 議会運営委員会
総務文教常任委員会
5/28 議会運営委員会
議会報特別委員会
5/26 各会派代表者会議
6/2 令和3年第2回定例会開会
議員協議会
6/14 経済建設常任委員会
6/16 議会運営委員会
6/18 令和3年第2回定例会閉会
林活議連総会

6/24 議会運営委員会
6/28 市民福祉常任委員会
6/30 議会運営委員会
7/7 市民福祉常任委員会
議会運営委員会
7/12 市民との意見交換会
7/13 議会報特別委員会
市民との意見交換会
7/14 経済建設常任委員会
7/21 議会運営委員会
7/28 総務文教常任委員会

市民福祉常任委員会活動報告

新型コロナウイルス感染症対策

4月15日の第6回委員会では、ワクチン接種券については高齢者約9千人に4月末までに配達予定。集団接種実施訓練、予約方法、ワクチンの集団接種・送迎方法、周知方法。

5月20日第7回委員会では名寄市内の感染状況、感染拡大防止対策5月25日からの予約再開について報告を受け質疑を行いました。

名寄市空家等の適正管理に関する条例

第6回委員会ではパブリック・コメントを4月20日から5月19日まで行い6月議会に提案予定。6月2日令和3年



適正管理が望まれる空家

第2回定例会付託議案第1号「名寄市空家等の適正管理に関する条例の制定について」は当委員会に付託され第3回定例会で審査結果について報告することになりました。

保育所等整備事業

第7回委員会では保育所等整備事業についての本設計コンセプト及び遊び場整備事業の概要説明を受け質疑を行いました。

第6回委員会では市民部より市民団体からごみの分別を自動案内するLINEbot（ライン・ボット）の無償提供を受け2百件の登録がありました。

名寄市立総合病院からは令和3年度業務体制、令和2年度患者満足度調査結果報告、新型コロナウイルス感染症対策状況報告がありました。

第7回委員会では市民部より市税のコンビニ収納・スマートフォン決済の利用状況、合同墓、高齢者等ごみ出し支援事業等。名寄市立総合病院からは医療従事者等用コロナ

ワクチン接種実績、NPO法人卒後臨床研修評価「Excellent」受賞について報告を受け質疑を行いました。



期待される南保育所

委員会のテーマ

テーマ推進に向けて議会で行った市民アンケートの結果をもとに所管部ごとの課題点を抽出、「名寄市第8期高齢者保健医療福祉計画・介護保険事業計画」のアンケート結果を整理し担当との意見交換会を開催しました。「名寄市医療介護連携ICT事業」の進捗状況の研修会を後日開催します。

林活議連

健康の森「名寄市議会植樹」

「森林・林業・林産業活性化推進名寄市議会議員連盟」では、健康の森内において、平成29年にエゾヤマザクラを27本植樹し、大切に育ててきました。

しかし、様々な要因により、残念ながら活着率は極めて低く、令和3年までに24本が枯死してしまいました。

そこで、枯死した苗木を撤去し、5月23日に新たに大きい苗木を5本補植しました。苗木には、有機肥料土を投入し、アリ駆除対策を施しました。6月には、下草刈り作業をしました。

無事活着することに期待感が膨らみます。

近い将来、春に花をつけて、訪れる皆様の目を楽しませてくれる日が来るように願います。

林活議連一同、今後もしっかりと育ててまいります。



桜の大きな苗木を植樹

経済建設常任委員会活動報告

4月27日に第6回委員会を開催し、経済部より新型コロナウイルス感染症対策緊急資金に関する要綱の一部改正について説明を受け、質疑を行いました。コロナの影響が長期化していることから、要綱を一部改正し限度額や融資期間を見直すもので、見直し案では限度額を1000万円から2000万円に引き上げ、融資期間を10年以内据え置き1年から3年とし、中小企業の資金繰り支援を行いたいとの説明がありました。

5月19日の第7回委員会では、経済

部・農業委員会、建設水道部からそれぞれ令和3年度の事業概要について説明を受けました。経済

部からは農務課所管主要事業、農業振興センター事業計画、耕地林務課主要事業、産業振興課事業の概要、交流事業の概要、農業委員会所管事業について、建設水道部からは、建設工事発注予定事業について、令和2年度除排雪事業報告について報告を受け、質疑を行いました。また、株名寄振興公社の経営改善状況について、新型コロナウイルス感染症の緊急事態宣言に伴う国道における対策について説明がありました。

6月14日に第8回委員会を

第5弾 名寄市地元企業サポート給付金

新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言などの影響で売上げが減少している事業者に対して、給付金を支給します！

対象者
名寄市内に事務所、事業所又は店舗を有する中小企業及び個人事業主

対象条件 ①②の両方を満たしていること
① 令和3年5月から令和3年7月までのいずれかの月における事務所等の売上げが、比較対象月(※)と比べて30%以上減少していること
② 令和3年5月から令和3年7月までの任意の連続する2か月の事務所等の売上げが、比較対象月(※)と比べて20%以上減少していること
※ 比較対象月(※)は… 前年又は前々年の同月、又は、前年1年または前々年1年

② 新北海道スタイルを実施するとともに、業種別ガイドラインに準じて感染予防対策に取り組むこと

申請締切
令和3年8月31日(火)まで

次の支援金の活用もご確認ください

- <北海道>
◆ 道特別支援金A・B (申請期日 (A): 8月31日 (B): 9月30日)
中小法人等 (A)20万円 (B)10万円 個人事業者等 (A)10万円 (B)5万円
北海道特別支援金コールセンター 011-351-4101
- ◆ 緊急事態措置協力支援金 (申請期日 5/31日 8/31日 6/30日(満期))
中小企業・個人事業者 1日あたりの売上高に応じて、2.5~7.5万円/日
専用ダイヤル 011-350-7377
- <国>
◆ 月次支援金 (申請期日 4/30日/5/31日 8/15日 6/30日/8/31日)
中小法人等 上限20万円/月 個人事業者等 上限10万円/月
相談窓口 0120-211-240

上記支援金には重複して受給できないものもありますので、認って受給することのないよう、内容をよくご確認ください。

第5弾となる名寄市経済支援策(名寄市HPより)



新たな取り組みにより利用者増につながったピヤシリスキー場

開催し、経済部から新型コロナウイルスに係る追加経済対策の概要について説明がありました。緊急事態宣言による時短要請や外出自粛等の影響により、売上げが減少している幅広い事業者に対し、事業継続を支援するための「名寄市地元企業サポート給付金」について、中小企業等が実施する感染防止対策(非接触サービス)の導入に係る費用の一部を補助する「名寄市感染防止対策IT化支援事業」について、それぞれの事業の概要について説明を受けました。

市議会からの

お知らせ

市議会では、議会基本条例に基づいて、市民の皆さんに議会の活動に関する情報公開を積極的に行っています。

本会議の会議録を公開するとともに、常任委員会、議会運営委員会及び特別委員会の概要、議会中継(録画を含む)も名寄市議会ホームページからご覧いただくことができます。

会議録検索システムを導入

本会議での質疑や議事のやりとりをインターネットで調べることができるよう会議録検索システムを導入しました。会議録(平成28年から)をデータ化し、パソコンやスマートフォンから、発言者や、関心のあるキーワードなどを入力することで、知りたい情報、過去の記録を簡単に検索ができるようになりました。会議録を紙の文書のように読めるPDFファイルも今までもおり掲載しております。是非ご利用ください。

政務活動費の概要について報告します。

政務活動費とは

◇政務活動費は、議員の調査研究に必要な経費の一部として、会派などに対して交付されています。【交付額は議員1人当たり、月額10,000円です。】

令和2年度 名寄市議会各会派などの政務活動費概要報告

単位：円

区分	市政クラブ	市民ネット	公明	日本共産党	合計	
当初交付額	1,200,000	720,000	120,000	120,000	2,160,000	
支出	調査研究費				0	
	研修費				0	
	広報費			8,670	8,670	
	広聴費				0	
	要望・陳情活動費				0	
	会議費				0	
	資料作成費		17,404		17,404	
	資料購入費	35,470	11,550		16,565	63,585
	人件費					0
	事務所費					0
支出合計	35,470	28,954	0	25,235	89,659	
未執行額（返還額）	1,164,530	691,046	120,000	94,765	2,070,341	
令和2年度交付額	35,470	28,954	0	25,235	89,659	

視察については、道内外の新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、感染防止の観点から中止としました。今年度は、「地方議会議員ハンドブック改訂版」を購入し、議事録の再確認を行うとともに、自らの資質向上に努めました。また用紙やインクカートリッジを購入し、議会活動に関する資料を作成しました。

政務活動報告

市民ネット

視察については、道内外の新型コロナウイルス感染症状況を踏まえ、感染防止の観点から中止としました。今年度は、「月間ガバナンス」「地方議会議員ハンドブック改訂版」及び「議員必携(第11次改訂版)」を購入し、先進事例の情報収集や議会ルールの再確認を行う等、自らの資質向上に努めました。

政務活動報告

市政クラブ

コロナ禍の中、調査、研究等は思うようにできませんでしたが、議会での取り組み等を「通信」として発行しました。

政務活動報告

日本共産党

また質問の資料として、商工新聞、農民新聞を購入。さらに議会運営にかかわる資料として、「地方議会議員ハンドブック改訂版」を購入しました。



名寄市議会ホームページ

右のQRコードから名寄市議会ホームページにつながります。詳しい内容は、そちらをご覧ください。

☆ き ぽ う ☆



震災を通じて学んだこと

おがた りょうすけ
尾形 亮輔

私は、北海道に来て4年目になります。それまでは宮城県に住んでいました。

震災当時は、停電・断水が1週間ほど続き、日常生活で当たり前だったことが当たり前でなくなった時に「これからどうなるんだろう」と、かなり不安でした。この時に近所の人や知り合いからの情報だったり「給水はどこでやっているよ」と教えてもらったりと、支え合っていました。

その時に一番感じたことは、みんな笑顔で接し合っていたことです。困難な中でも、明るく、未来に向かって進んでいこうという気持ちが今でも忘れられないです。

私は今、市内の自動車販売会社で働いています。仕事はとても大変で、ミスがあると怒られることがいっぱいありますが、気持ちの切り替えと笑顔を忘れずにこれからも頑張っていきたいと思えます。



日々精進

みうら じんや
三浦 仁也

私は個人店の居酒屋を経営しております。大手の居酒屋チェーン店で長年働いて得た知識やスキルを活かして自分のお店を開くことを決意し、今年の4月にオープンさせることができました。コロナ禍でのオープンということで不安はありましたが、多くのお客様にご来店いただき、常連のお客様も増え、ありがたい限りでございます。軌道に乗ってきたところで緊急事態宣言が発令され時短営業を余儀なくされてしまいましたが、お客様のニーズにお応えできるよう試行錯誤しながら営業を続けさせていただきました。6月下旬より通常営業に戻ります。

できる限り旬の食材を取り入れ、お客様がお求めやすい安価な金額でご提供するとともに、居心地の良い空間をご提供出来るように努めてまいります。これからもますますお客様に愛されるお店作りに精進してまいります。

表紙の写真は「名寄東サンライズバレーボール少年団」です。

名寄東サンライズバレーボール少年団は、名寄東小学校で活動している小学生バレーボールチームです。今年度は2年生から6年生まで総勢21名で、男女混合と女子の2チームで登録し、活動しています。4月の大会では惜しくも準優勝に終わってしまいましたが、次回大会では優勝できるよう、今できることをしっかりと行い、力を付けていきたいです。



編集後記

第2回定例会は北海道が緊急事態宣言発令中のため、新型コロナウイルス感染拡大の恐れと市民の皆様の感染の拡大防止を最優先し、一般質問の傍聴を中止とさせていただきます。▼今、国民の一番の関心事はワクチン接種です。名寄市でも2回目のワクチン接種を終えた人がいますが、皆さん一様に晴れやかな表情に、コロナ禍から脱するためとしてワクチンの期待の大きさを感じます▼北海道は緊急事態宣言からまん延防止等重点措置に移行しましたが、感染力が強いデルタ型変異ウイルスが確認され始めました。引き続きマスクの着用・手指消毒・不要不急の外出を控える等の感染対策を行い、家族のために自分自身の感染を予防してください▼傍聴が中止でしたが、議会だより・インターネット動画配信・エフエムなよろなどで、市民の方々に議会内容が分かりやすくなるように取り組んでまいります。

(伸)

